

1月に開催する講座・イベント情報をご紹介します。新しい年もサポートオフィスでは、地域・市民活動に取り組むみなさんにとって「参加してよかった」「団体の運営に役立てられそう」と思っただけの企画をたくさん用意していきます。どうぞご期待ください！

1/9(木)
10:00~17:00

誰でも気軽に立ち寄れる地域活動のつながりの場 まちカフェ!オープンデー

📍【会場】町田市役所2階市民協働おうえんルーム



「地域活動団体がいつでも交流し学び合える場」として、毎月第1木曜日に開催しています。この日は14時より〈特別講座〉WAM助成説明会&相談会を実施します。サポートオフィスのスタッフが終日おりますので、ふらりとお話しにいらしていただくのも大歓迎です。カフェのように気軽にお立ち寄りくださいね！

こんな方におすすめです

- ✔ まちカフェ!の参加方法や協働先について相談したい
- ✔ 地域活動のはじめ方や進め方を相談したい
- ✔ 地域活動に関心があり、情報交換したい
- ✔ 自団体の定例会や打ち合わせをしたい

特別講座

WAM助成説明会&相談会

● 開催時間 14:00~16:00

当日はWAM助成の担当者にお越しいただきますので、直接質問・相談ができます。WAM助成への応募をご検討中の方や今後助成金申請にチャレンジしたい方にお勧めです。

特別講座のみ予約制です。
右記QRコードよりお申込みください。



昨年度の様子▶



1/17(金)
18:30~19:30

まちカフェ!の活動を振り返り、お互いに感謝を伝え合う交流の場 まちカフェ!アワード表彰式&交流会

📍【会場】町田市役所2階市民協働おうえんルーム

今年度のまちカフェ!を写真や来場者アンケート結果等で振り返り、参加団体同士で交流を深める会を実施します。基本的にはまちカフェ!参加団体を対象としていますが、第一部のまちカフェ!実施報告(30分程度)は、次年度のまちカフェ!参加を考えている方や団体も参加できます。ご希望の方は、サポートオフィスまでご連絡をください。詳細をご案内します。

昨年度の様子▶



一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス

✉ info@machida-support.or.jp

☎ 042-785-4871 月~金 午前9時から午後6時 (毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

● JR横浜線町田駅から(徒歩約5分) 小田急線町田駅から(徒歩約8分)

● お車で越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください

相談
無料

事前
予約制

公式SNS 更新中



www.machida-support.or.jp



Now

第18回町田市市民協働フェスティバル
まちカフェ!を開催しました!

Topics

まちカフェ!参加団体のチラシから学ぶ
すぐに取り入れたい!
チラシづくり5つの工夫

Information

これから開催するイベント情報



Now 近況報告

第18回町田市市民協働フェスティバル まちカフェ!を開催しました!

市内最大の地域活動の祭典、町田市市民協働フェスティバルまちカフェ!(以下まちカフェ!)が、11月30日から12月8日までの期間で、市庁舎と市内各地のフィールドを使い開催されました。

初日は、市役所1~3階(議場含む)を使い、130を超える参加団体による企画が実施されました。各団体の専門性やオリジナリティに富む内容で、今年もたくさんの笑顔があふれるまちカフェ!になりました。

まちカフェ!は参加団体が実行委員会を組織し、企画・運営をしています(サポートオフィスは事務局として参画)。今年度のまちカフェ!では、初出展団体や久しぶりの参加団体も多く、過去最高の参加団体数に。その中から、互いの強みややりたいことを掛け合わせ、SDGsの視点を取り入れた協働企画が多数生まれたのも見どころの一つでした。

次年度のまちカフェ!も出展だけではなく、ボランティアや協賛など、多様な参加方法をご用意する予定です。詳細が決まり次第、まちカフェ!ホームページ等でご案内します。ぜひまちカフェ!にご参加ください。

Check!

まちカフェ!の詳細や
参加団体の情報はこちらから!

※次年度の開催概要は来春公開予定です



Voice まちカフェ!来場者のアンケートから

皆さんがとても楽しそうにいました。いろんなワークショップに参加できておもしろかったです。

12月1日の支える手チャリティーライブは、楽しさと生活困窮者支援が無理なく結びついていると感じて感動しました。

市外の者として町田市がとても精力的に街を盛り上げようとしている事とても魅力を感じました。今後移住の機会があった時の選択肢として大変参考になるイベントでした。



チラシづくり5つの工夫

今年度のまちカフェ!(巻頭ページも併せてご覧ください)では、これまで以上に多くの団体が工夫を凝らしたチラシを作成し、来場のキッカケづくりにつながりました。ここでは、今年度のまちカフェ!参加団体が作成したチラシの中から、取り入れやすい工夫をしているものをピックアップしてご紹介します。ぜひ皆さんの団体のチラシづくりの際に試してみてください。

CASE 1

実施するプログラム内容が参加者目線でよく練られている!

どんなプログラムなのかがわかりづらいと、申し込みにはつながりにくいです。**〈どんな方に来てもらいたいか(ターゲット)〉と〈来てくれた人にどんな価値や発見をしてもらいたいか(企画内容)〉**を考え言語化しておくチラシづくりが楽になります。



POINT

- ✓ ターゲットが定まっていると、デザインの方向性(色や使う文字フォント)も明確になりターゲットの目に留まりやすいチラシが出来ます。
- ✓ 企画内容がしっかり練られていると、タイトルや文章が具体的かつ素敵につくれます。

▶ チラシを制作した団体
はたつく研究所



CASE 2

団体の世界観や魅力が伝わりやすい!

専門性が高い活動をしている団体が多いのも地域活動の魅力の一つです。でも初めて参加する人にはその魅力が伝わりづらいこともあるのが現状です。チラシには**実施内容が初見の方にもわかりやすく伝えるキービジュアルを効果的に配置**することをおすすめします。



POINT

- ✓ ワークショップは実際に取り組んでいる様子や制作物がわかる写真を入れると参加のイメージができるので、申し込みのハードルが下がります。
- ✓ 講師の写真や団体メンバー写真などを入れると親近感がわき、目に止まりやすいチラシになります。

▶ チラシを制作した団体
色彩心理グリーンハートラボ



CASE 3

予算をかけずに目立つチラシづくり!

活動には予算の制約がつきものです。カラー印刷や多くの部数の印刷費用がないということも多いと思います。そうした制約も**仕様や要件を逆手に取ってシンプルでデザインと明確なメッセージで、強い印象を残す**ことができます。



POINT

- ✓ 色紙にモノクロ印刷したり、イラストや写真を1つに絞って大きくレイアウトするとインパクト大です。
- ✓ 一般的なA4サイズのチラシより一回り小さいチラシ(B5やA5サイズ)にすると手に取ってもらいやすく、コスト削減にもつながります。

▶ チラシを制作した団体
左: 町田子ども劇場
右: NPO法人子ども広場あそびこどもたち×WA温



CASE 4

チラシの裏面を有効活用して、効果的に広報!

「チラシの裏面が白紙なのはもったいない」と、自団体と似ているテーマで活動している他団体の**イベント情報を掲載**した団体がいらっしゃいました。志を共にする他団体との連携を深められたり、施設で配架してもらいやすくなったりという効果があったそうです。



POINT

- ✓ チラシ裏面の効果的な活用を考えてみましょう。他のイベント告知や団体の普段の活動を掲載するのもおすすめです。

▶ チラシを制作した団体
町田にベビーシアターを広げる会



CASE 5

チラシの配布先をひと工夫し、参加に結びつける!

集客の秘訣は、**参加してくれそうな人にチラシを確実に届けること**です。まずは、ターゲットとなる人がどこにいるかを考えましょう。例えば、ジャズコンサートを企画した団体は、クラシックコンサートの会場でチラシを配布し、多くの申し込みを獲得されていました。



POINT

- ✓ 自団体のイベントのターゲットに近い層が集まる場所やイベントをメンバーで出し合ってみましょう。子育て世代でしたら小児科、薬局も効果的です。

▶ チラシを制作した団体
オール町田文化芸術祭プロジェクトチーム



チラシづくり\その前に/確認したい5つのポイント

充実した、そしてミスのないチラシをつくるには、事前の準備が肝となります。チラシづくりの前に少し立ち止まってメンバーの皆さんと話し合える時間を持つのがおすすめです。

POINT 1 メンバーの役割分担が決まっているか

例えば会場手配係や登壇者との連絡係などがメンバー内で分担ができていますと、チラシに掲載すべき内容も早く決まりスムーズに制作できます。

POINT 2 参加者が「参加したい!」と思える企画になっているか

上記のCASE1でも紹介していますが、どんな方に来てもらいたい、参加するとどんな価値や発見があるのか等をチラシに具体的に記しましょう。

POINT 3 会場や備品の予約・準備ができていますか

Wi-Fiの有無、会場や備品のレンタル費等が確認できていると、参加者の準備物や参加費が決まるので、チラシ制作もスムーズです。

POINT 4 予約方法・問い合わせ先を決定しているか

年齢層によって予約しやすい方法が変わります。問い合わせ先の記載やQRコードのリンク先の確認もお忘れなく!

POINT 5 支払いフローが確定できているか

予約サイト等を通じたオンライン事前決済も主流になってきました。参加者や主催者共に無理なく支払いや確認がとれる方法を選びましょう。

日頃からいろいろなチラシを見て研究しましょう!
サポートオフィスでは、年間を通じてチラシづくりやイベントや講座開催の準備についてのご相談を受け付けております。